

## 応分の負担は当然

水海道有料道路の利用と交通体系の連携について



**議員** 今年6月から水海道有料道路が朝の時間帯において無料化された。この6月以前と以後の通行量の変化があったと思うが、その数値を教えてください。

**都市建設部長** 無料措置実施前の5月と比較して、2・58倍、台数でいうと704台から1817台に増加し、交通量増加に貢献できた。周辺道路の影響については、10月に再度調査を実施、効果検証を行う考えである。

**議員**

台数が増えてきたということは、豊水橋、美妻橋の渋滞緩和につながり、近隣市町村の市民も利益を受けていることにもなる。市の単独の予算で無料化することは税金の公平な分配という観点からも私自身大変疑問であり、その応分の負担は当然と思うがいかがか。

**都市建設部長**

広域的な見地から、つくば市、坂東市、つくばみらい市など近隣自治体と負担割合などを協議し、協力を願う考えである。

**議員**

過去に2回ほど社会実験として無料化を行ったが、今回も実施にあたり坂東市と協議をしたと思うが、その経緯を伺いたい。

**都市計画課長** 坂東市では、今年度実施についての協力は得られなかった。

**議員**

この事業は市民から好評があり、償還期限の今後10年間、他の市の協力が得られなくても、実施していくのか。

**市長**

来年度以降の実施については、議会の意見を受け止め、市民の意向、関係市町村との交渉などを含め、考えていきたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

## 広域連携で相互のメリットを

広域連携による公共交通について



**議員** 守谷駅直行坂東号バスの路線と連携することで、相互にメリットが生じる。協議すべきと思うがいかがか。

**総務部長** 議員より提案があった、常総市内に停留所の設置が実現できれば、守谷市と坂東市との公共交通ネットワークが確立され、市民生活の利便性の向上が期待される。また、市内外から多くの方が訪れるあすなろの里入り口などへ停留所が設置できれば、

今以上の来園者も期待できるほか、広域連携の観点からも様々な分野への波及効果が生まれる。実現に向けて運行時間などの課題が多くあるが、坂東市と協議を行い、連携の可能性を積極的に図っていきたい。

**議員**

以前は、高速バスがあすなろの入り口で停車していたが、それも無くなった。あすなろの里は、安くて子ども達も一緒に遊べるということで、都内からつくばエクスプレスを利用し、来園する方が多くなった。しかし、あすなろの里までの移動手段が難しい。坂東市の担当課と話しをしたが、この路線は乗降客はそれほど多くはないが、バス停を作ることにし、乗る人が増え、収益も上がり双方にメリットがあると感じた。あとは各部署でこれを交渉していけばうまくいくと思っている。1回、2回協議して駄目なら、最後は首長が話しに行く。坂東市とすぐに行ってください。

**行政経営課長**

早速、坂東市に伺い、協議させていただく。

**議員**

早速ということで、明日にも行ってもらいたい。